



南湖院（南湖）

ちがさき文化景観祭 '08

茅ヶ崎らしさの「継承」と「創造」

「茅ヶ崎らしさ」とは何だろうか？そんなことを、まち歩きを楽しみながら考えようというのが、『ちがさき文化景観祭'08』。澄んだ青空が広がる9月7日（日）に茅ヶ崎市が実施する協働推進事業の一環として茅ヶ崎の文化景観を育む会との共催で開催され、午前中は2つのまち歩きコースを、午後にはポスターセッションとシンポジウムを実施し、多くの方に御参加いただきました。

◎「継承」のまち歩き

「継承」のまち歩きコースでは現存する景観資源である南湖院・藤間邸を巡りました。

◎「創造」のまち歩き

「創造」のまち歩きコースでは、旧鉄砲道沿いを中心に景観資源の利活用事例を巡り、茅ヶ崎の別荘地と居住地が融合したまち並みを楽しみながら、茅ヶ崎館に至りました。

◎ポスターセッションとシンポジウム

午後は茅ヶ崎市美術館で、茅ヶ崎市内や湘南地域で景観の保全活動や歴史的建造物の利活用に取り組む団体がポスターセッションにより活動紹介を行いました。その後、茅ヶ崎市立図書館大会議室に会場を移し、茅ヶ崎の文化景観を育む会代表の山口洋一郎をコーディネーターに「茅ヶ崎らしさ」について6名のパネリストがシンポジウムで思いを語り合いました。そして「茅ヶ崎らしさ」とは「地の文化」と「別荘文化」が融合し創られた新しいものを積極的に受け入れる「ゆるさ」、そしてその「ゆるさ」の暴走を許さない、許したくないとする価値観が「茅ヶ崎らしさ」を支えているのではないかという結論に至りました。

◎クリエイターズウィーク

「茅ヶ崎らしさの継承と創造」をテーマに、茅ヶ崎で暮らすクリエイターが生み出す作品を中心とした企画展を、4つの店舗で1週間同時開催しました。



「茅ヶ崎館」 国登録有形文化財（建造物）登録となる！

茅ヶ崎市では第1号登録



明治 32（1899）年創業、「継承のまち歩き」で訪れた茅ヶ崎館が、「茅ヶ崎の別荘地・保養地としての歴史とともに歩み、湘南の文化史上極めて貴重な建造物」として評価されました。ここは映画の名監督・小津安二郎が定宿としていたことでも知られています。

平成 20 年 12 月 12 日に開催された文化審議会にて、茅ヶ崎館の広間棟・中二階棟・長屋棟・浴室棟の 4 件を登録有形文化財（建造物）に登録するよう文部科学大臣に対して答申され、国の登録有形文化財に登録されました。茅ヶ崎の文化景観を育む会では、国登録文化財申請に必要な実測調査による図面や所見文作成などの手伝いを 3 年前から手掛けておりました。平成 21 年 3 月 8 日には茅ヶ崎館にて国有形登録文化財のプレート授与式が行われ、価値のあるプレートが玄関に取付けられました。

茅ヶ崎の文化景観を育む会ではこれをモデルケースとして第 2、第 3 の国登録有形文化財誕生を支援いたします。

「国登録有形文化財」への想い

この度、国の登録有形文化財として茅ヶ崎市で初めて登録をいただくことが出来ました。

日頃からご支援ご指導いただきましたお客様と、関係者の皆様がこの場をお借りして感謝申し上げます。今年で茅ヶ崎館は創業 110 年を迎えました。地元の歴史文化とともに、これからも皆様の憩いの場所として営業して参ります。



茅ヶ崎館 五代目 森 浩章

◎茅ヶ崎館関連情報



湘南邸園文化祭 2008 キックオフパーティー (2008 年 9 月 7 日)

ちがさき文化景観祭の夜は、「湘南邸園文化祭 2008 キックオフパーティー」を開催しました。会場は茅ヶ崎館で茅ヶ崎ゆかりのミュージシャン『南佳孝さん』のミニコンサートが行われました。新曲も含めヒットナンバーに聴き入りました。

「茅ヶ崎の文化景観を育む会」友の会へのお誘い

この度、「茅ヶ崎の文化景観を育む会」では、このような活動に興味があり、ご賛同いただける友の会会員を募集しています。
詳しくは下記までお問合せください。



「不如帰」の上映 (2008 年 11 月 3 日)

11 月 3 日の文化の日には、日本映画ゆかりの茅ヶ崎館で文人：徳富蘆花の名作「不如帰」を活弁士の佐々木亜希子さんが、一部現存する貴重なフィルムとともにお届けしました。逗子を舞台としたこの作品は、明治時代にベストセラーとなり舞台化・映画化されました。

「ちがさき文化景観祭'09」
に是非御参加ください。

発行 茅ヶ崎の文化景観を育む会・茅ヶ崎市
連絡先 茅ヶ崎の文化景観を育む会事務局
TEL・FAX：0467-98-1630 / E-mail：info@chi-bunkei.net
Web：http://www.chi-bunkei.net